

2026 年 8 月 17 日
No. 2026-013

九州大学とネーミングライツ契約を締結 — 九州大学 320 船海講義室 1 の愛称を「JMU Study Dock」に決定 —

ジャパン マリンユナイテッド株式会社(略称：JMU、本社：神奈川県横浜市、代表取締役社長：廣瀬崇以下、「当社」)は、国立大学法人九州大学(所在地：福岡県福岡市、総長：石橋達朗 以下「九州大学」)とネーミングライツ(愛称を付与する権利)契約を締結し、2026 年 7 月 1 日より、九州大学 伊都キャンパス ウエスト 2 号館 320 船海講義室 1 の愛称を「JMU Study Dock」とすることを決定しましたので、お知らせします。

【契約概要】

愛 称：JMU Study Dock (読み：ジェイエムユー スタディー ドック)
対象施設：九州大学 伊都キャンパス ウエスト 2 号館 320 船海講義室 1
契約期間：2026 年 7 月 1 日～2032 年 6 月 30 日 (6 年間)

当社は、世界最大級のコンテナ船や大型タンカーをはじめとする各種商船、艦艇や巡視船に加え、SEP 船^{※1}や AHTS^{※2}などの作業船、洋上風力発電用の浮体まで、幅広い船舶・海洋構造物の開発・建造を担ってきました。

その中で培ってきた技術と知見をさらに発展させ、これからも世界の造船業をリードしていくためには、次世代を担う人材の育成が不可欠です。そのため当社は、「船舶海洋分野の『技術』と『ものづくり』で、社会の発展に貢献する」という企業理念のもと、学生の皆さまの学びと成長を支援し、船舶海洋分野の未来を担う人材の育成に貢献したいと考えています。

当社では、多くの九州大学卒業生が、船舶の設計・建造や技術開発など、ものづくりを支える幅広い領域で活躍しています。講義室「JMU Study Dock」が、学生の皆さまの学びと交流の場として広く活用され、その愛称が親しまれること、また、本契約を契機として、共同研究をはじめとする産学連携が広がり、九州大学と当社との関係が一層深まることを願い、本契約を締結しました。

※1 SEP 船：船体に備えた昇降式の脚を海底に着床させ、船体を海面上にジャッキアップして、安定した状態で洋上作業を行う作業船。

※2 AHTS：洋上設備を係留するアンカーの設置・回収、洋上構造物の曳航、資機材の輸送などを行う作業船。



JMU

Japan Marine United Corporation

BUILD JAPAN BUILD FLAGSHIP

JMUは九州大学工学部を応援しています

JMU supports Kyushu University Faculty of Engineering